

令和5年度:児童発達支援楽笑 事業所評価

チェック項目		はい	
環境・体制整備	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○	支援上の理由や感染対策の観点から活動場所を分けたり、区切ったりしているため多少狭く感じることもあるかも知れません
	職員の配置数は適切であるか	○	
	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	△	室内の畳スペースは、フルフラットではないので低い段差があるので、つまづいて転倒しないように気を付けています
	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○	
業務改善	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○	年1回、評価を実施して、結果を共有し職員で話し合い改善していきます
	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○	
	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	×	サービスの質の向上の為、外部評価の実施を検討しています
	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○	努力義務の研修を含め、必要な研修と訓練を実施しています
	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○	
適切な支援の提供	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○	
	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○	
	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○	計画の目標を意識して、支援できています
	活動プログラムの立案をチームで行っているか 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○	必要に応じて多職種が参加して支援会議を行い、支援計画を検討しています
	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	○	個別支援活動のみの場合もあります
	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○	本日の課題やスケジュール、送迎時間の確認を行います
	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○	翌日に行っております
	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○	記録を残し、掲げられた目標が一定期間で達成されつつあるか、前回と比較して良くなっているか、振り返るための記録として正しく記入しています
	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○	定期的にモニタリングし、支援会議を行い見直し作成しています
障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○	可能な限り、できるだけ参画していると思います	
関係機関や保護者との連携	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○	
	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	—	該当なし
	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	—	該当なし
	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○	送迎時の引継ぎ等を利用して、しっかりと情報共有し、連携を積極的に図っています
	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○	
	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	×	センター主催の研修に参加し、助言を受ける機会を確保したいと思います
保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	×	近隣での地域交流の場が少ないこともあり、機会がないのが現状です	

令和5年度:児童発達支援楽笑 事業所評価

チェック項目		はい	
連携	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○	
	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○	連絡帳や電話、気軽にLINEで伝えるなど対応している
	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	○	抱える悩みを気軽に相談できるように、送迎時などにやり取りを行い日頃からコミュニケーションを取れるようにしています
	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○	利用契約時に説明し、運営規程については施設内に掲示し常時閲覧できます
保護者への説明責任等	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○	更新ごとに説明した後、同意を得ています
	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○	必要に応じて面談にて相談を受けたり、保護者の皆さんの状況に応じてLINEを活用するなど柔軟な対応をとっています
	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	×	忙しい保護者の皆様にとって参加が負担になることのないよう内容についてしっかり検討したいと思います
	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○	随時対応しています
	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○	連絡帳やおたよりを活用しています
	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○	鍵のかかるロッカーにて、管理を徹底しています
	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○	
事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	×	現在は、コロナ感染症予防の観点から行われていませんが、5類移行を受けて再開できるよう検討しています	
非常時等の対応	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○	すぐに確認できるように整備し、必要に応じて配布することも検討しています
	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○	年2回、実施しています 訓練後には誘導に無理やロスがなかったか、担当ごとに振り返りを行います
	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○	
	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	—	該当なし
	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○	あらゆるリスクの想定と対策を講じて防げるリスクを防ぐことができるよう情報共有しています
	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○	虐待防止委員会を定期的に開催し、指針に基づき虐待防止の徹底を図ります 研修を実施した際に、内容について記録しています
どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○	併せて指針を整備し、適正化検討委員会及び研修を定期的に開催し、周知徹底を図ります	